

かんてつ 貫徹通信

発行責任者：藤沢市議会議員 おおや 徹

12月定例議会報告

発行日 2017年1月 【第29号】
発行者 大矢 徹（おおや とおる）
連絡先 藤沢市鶴沼藤が谷4-17-5~302
【自宅】0466(47)8255
【携帯】090-8850-6062
<http://www.ohyatoru.com/>
[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)



柳小路駅で「貫徹通信」を配布

昨年は皆様の支援により、藤沢市議会議員として力強く活動させていただいたことに心より感謝申し上げます。

正月恒例の箱根駅伝では、私の母校である日本大学が往路を10位で折り返したことから、シード権の獲得を期待しましたが、残念ながら19位といった結果に終わりました。来年も予選会からとなりますが、何とか本選出場を果たしてもらいたいものです。

今年は、議員・議会がより身近な存在になるための議会報告「貫徹通信」の議会毎の発行の他、「勤労者・社会的に弱い立場の方の視点に立った活動」を目標に全力で取り組みます。

本年もどうぞよろしく申し上げます。

12月議会は12月1日から12月21日の日程で行われました。主な内容は、指定管理者の指定、下水道条例の一部改正、平成28年度藤沢市一般会計補正予算などです。私は市側が提案した全ての議案に賛成し、可決されました。

【北部第二(三地区)土地区画整理事業の事業計画変更】

この事業は平成3年度～17年度を当初計画期間として進められてきましたが、事業の進捗から期間内での完了が困難として、今回3回目の事業計画見直しが行われることとなりました。

●計画変更の推移

	全体事業費	移転戸数	事業期間
①当初	440億円	550戸	H3～17年度
②2回目	555億円	867戸	～32年度
③今回	778億円	942戸	～47年度

今回の変更については議会でも厳しい指摘が相次ぎました。私も精度の高い進捗管理のもと、年間の事業量に対応しうる職員体制が必要と指摘し、副市長からも「必要な体制を確保していく」との答弁がありました。

【健康と文化の森地区の浸水対策】

西北部に位置する標記地区では、集中豪雨に伴う浸水被害が頻発しており、平成26年10月の台風18号では、最大で時間77mmの豪雨により藤沢慶応前郵便局を中心に深刻な被害が発生しました。

同地区では、今後いずみ野線の延伸計画や医療機関の開院等を控えており早急に対策が必要となることから、「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」が策定されます。浸水シミュレーションに基づく雨水の貯留施設の建設等を含めて平成29年度から46億円を事業費として着手を始めます。

【市内全駅周辺を路上喫煙禁止区域へ】

昨年、「藤沢市公共施設等における受動喫煙防止を推進するためのガイドライン」が策定されたことを踏まえて、これまでの3駅周辺だった禁止区域を2月1日から市内全駅（14駅）周辺に拡大することとなりました。

今後、2020年の東京オリンピックのセーリング会場となり、海外からの観光客が数多く訪れることが想定されることから、小田急江ノ島駅周辺など特に乗降客の増が見込まれる駅については、秩序の維持などの観点からも、課題等を検討していく必要があると考えます。

【給付型奨学金制度の創設に向けた取り組み】

平成30年4月実施に向け、返済を伴わない「藤沢型の給付金奨学金制度」導入の検討が進められています。

●制度概要

■支給要件

- ①本市に1年以上住民登録
- ②生活保護受給世帯の子ども
- ③児童養護施設入所者
- ④成績評定平均が3.1以上

■対象とする学校

- ①学校教育法に規定する大学、短期大学、専修学校の専門課程

■給付額

- ①入学金1回30万円以内
- ②授業料月額6万円以内

この制度は私が所属する「民主クラブ」が以前より強く必要性を訴えてきたものです。国でも検討されているものの、給付額が低く、成績要件のハードルが高くなっていることから、本市が創設を決めたことを高く評価します。

【ふるさと納税制度の検討】

ふるさと納税制度とは、自分の選んだ自治体に寄附をした場合に、その金額のうち2千円を超える部分について、上限はあるものの、所得税と住民税から原則として全額が控除される仕組みであり、本市における市税収入の減収にも繋がっています。

そこで本市では、この制度の導入（返礼品等）の検討を進めており、7～8月にインターネット上での寄付金受け入れ開始を予定していますが、私は制度そのものが返礼品競

争により、自治体間で税金を奪い合う形となっており、本来のふるさとへの応援・恩返しといった主旨とかけ離れている点からも、見直しも必要なのではないかと考えます。今後の本市の方向性を注視していきます。

【中期財政フレームについて】

昨年11月に行われた行革等特別委員会において、平成29年度～33年度の一般会計・一般財源ベースの「中期財政フレーム」が示されました。

これは、現在計画している公共施設の再整備や道路事業・子育て・福祉などの事業を今までと同様に進めていった場合、次のような財政状況になるといった概算となります。

●概算の内容	
①平成28年度	0万円
②平成29年度	▲ 55億5,600万円
③平成30年度	▲ 84億3,800万円
④平成31年度	▲ 111億1,500万円
⑤平成32年度	▲ 132億5,800万円
⑥平成33年度	▲ 161億8,600万円
5年合計	▲ 545億5,300万円 (※ ▲ 収支マイナス)

この数字は精度が低いものであるものの、今後この545億円が不足するという数字のみが独り歩きすることを懸念します。来年度からスタートする行財政改革の内容を注視していきます。

【市職員の一連の不祥事について】

●生活援護課元職員の扶助費不正支出

不正支出額については本人より全額（5,105,800円）弁済済みですが、現在、神奈川県警本部において告訴状が受理され、藤沢警察署により捜査が進められています。

●施術費（鍼灸・マッサージ等）の不正支出

内部調査を継続し、昨年10月に藤沢警察署に被疑者不詳のまま被害届（被害額1,651,500円）を提出しています。

●学校給食課元職員による給食費私的流用

昨年、食材費が未払いとなっていた食材納入業者に損害賠償金（64,702,873円）を市として支払っています。内容証明郵便で返済を請求していますが、現在も支払われていません。

今後、損害賠償金を全額回収するための手段として訴状を作成し、横浜地方裁判所に提出する予定となっています。裁判により財産調査を行い、必要に応じて管轄地方裁判所に強制執行を申し立て、財産の差し押さえ等を行うなど、全額回収に努めていきます。

再発防止には、これまでの不祥事に対する対応策が適切であったのか、他に有効策があったのかを検証するために外部有識者に評価を依頼しています。私も今後の債権回収、再発防止策の外部評価を注視し、このようなことが二度と起きないようにチェックに努めます。



私は議会の会期中以外は、日中に支援者へこの「貫徹通信」を配布したり、地域をまわって市民の皆さんからご意見を伺っています。そうすると昼食は外でいただく機会が増えますので、趣味の「食べ歩き」を活かして様々なお店にお邪魔しています。今回は、そんな私の昨年1年間に食した昼食のうち「これは！」という3つを挙げました。



1. 絶品「パイコー飯」

大庭にある「中華名菜 青葉」のパイコー飯は絶品です。カレー風味の揚げた豚肉がスパイシーで食欲をそそります。熱々の醤油餡は油断するとやけどしますので、ご注意を(^_^;)。



2. 定番「わかさランチ」

市役所近くにある「とんかつ わかさ」のわかさランチは市役所職員の時からたまに食べていたので、無性に食べたくなる時があります。

とんかつ+海老クリームコロッケ+海老フライのコンビは最高です！



3. 熱々「もやしそば」

藤沢駅南口にある「大新」のもやしそばは、寒い時期にうってつけです。

たっぷりのもやしに私好みの醤油餡がマッチして、何とも言えないおいしさ！何度も通ってしまうやさしい味です。

おおや 徹

興味を持ったら... ホームページをご覧ください!

時事問題や趣味の食べ歩きを活かしたレポートなど、多岐にわたりアップしています。写真も多く載せてあり楽しいですよ♪ダイエット企画「大盛・セット食べません」シリーズも継続中。美味しいお店・料理も紹介していますが、ダイエットの行方も期待してください！

また、議会状況も自分が所属する委員会以外も極力傍聴して結果報告を随時アップしています。今藤沢市が直面している課題を分かりやすく説明するよう心掛けています！

おおや 徹 検索 クリック



QRコード

「貫徹通信」のバックナンバーもご覧いただけます。

是非ご覧ください!